

岩手県高等学校 理科研究発表会

県立宮古高等学校生物研究部が、ジオサイトのひとつ、三王岩（宮古市）の津波石（東北地方太平洋沖地震の津波によって移動した巨石）について研究発表をしました。

発表会は、平成25年12月13日（金）、県立総合教育センター（花巻市）にて開催された岩手県高等学校理科研究発表会。

その結果、みごと最優秀賞を獲得しました!!

実は、彼らは、日本ジオパークの現地審査（平成25年8月）でも研究成果を発表しました。



津波石を動かした津波のモデル実験方法など、現地審査の審査員からの助言をもとに、その後実験を繰り返し、重さ200tと推定される津波石の移動経路や、動かした津波の流れについて、さらに研究を進展させていたのです。

今回の研究成果をガイドの内容に盛り込むために、彼らにはガイドへの指導も頼みたいところです。これからも三陸のジオ研究を担う若手の活動を応援します！



おめでとう

岩手大学

同門会講演会

1月11日（土）は、岩手大学教育学部地理学・社会科学教育研究室同門会の皆さんにお招きをいただき講演しました。沿岸の小学校の先生も多数出席されており、ジオパークを紹介するとともに、交流会では復興に向けた教育現場のお話を聞くことができました。とても貴重な機会となりました。

最近、学校の先生方に三陸ジオパークのお話をする機会が増えている気がするなあ…



また、1月27日（月）は、盛岡地区社会科教育研究会の研究授業の中で盛岡市立城北小学校の6年生児童と同研究会の先生合わせて約70名の皆さんに「あまちゃん」の景色から見た三陸ジオパーク」というテーマで短時間でしたがお話をさせていただきました。

一方、沿岸の中学校から三陸ジオパーク授業を行いたいのので協力してほしいという相談を受けており、各学校のご協力のもとに、今年から本格的に三陸各地でジオパーク授業を開始したいと思っておりますので、ご関心のある学校関係者の皆さんは協議会までご連絡をください。

